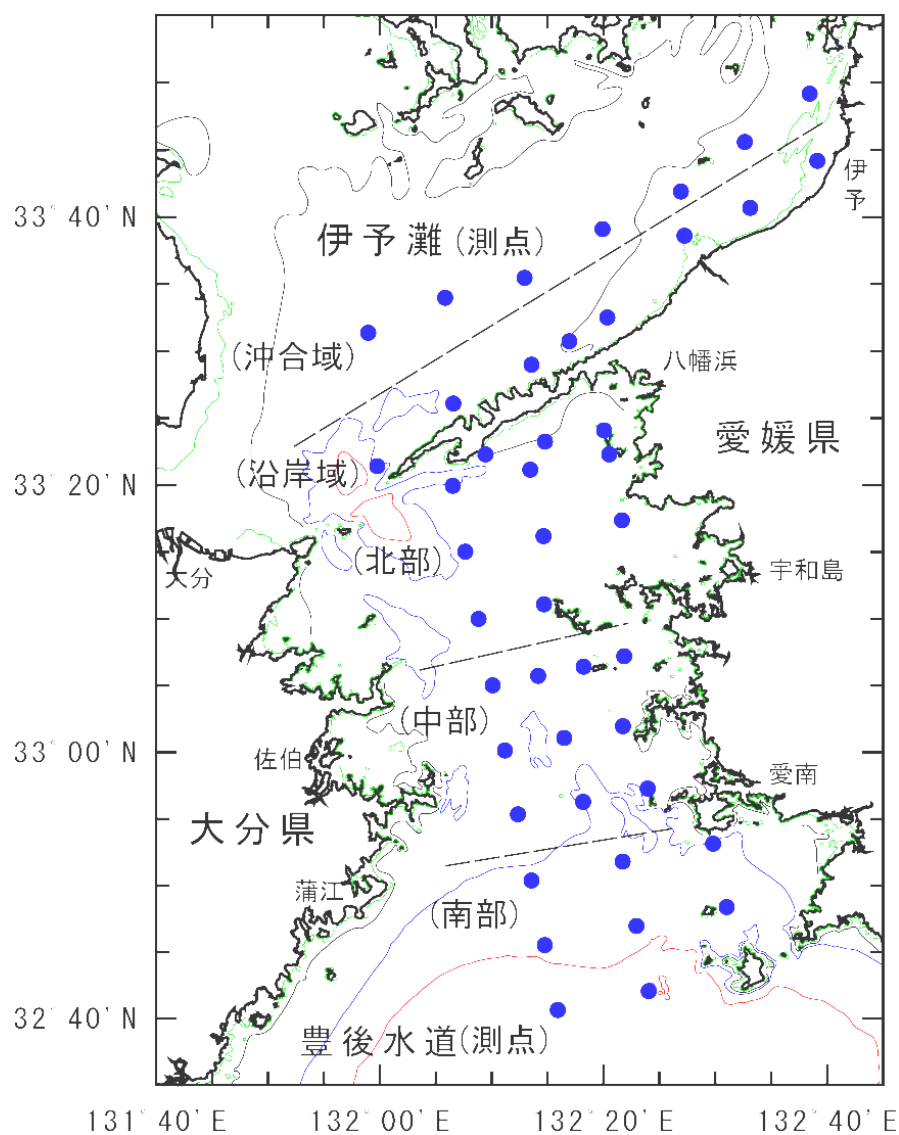


2025 年 4 月～6 月の経過と 2025 年 8 月～12 月の予測



2025 年 8 月 13 日

環境資源室

○概要

令和7年7月29日、30日に国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産資源研究所が、太平洋側21都道府県の関係試験研究機関による資源調査結果等を踏まえて太平洋側の漁海況経過の総括と予測を行うため長期漁海況予報会議を行いました。そこで、2025年4月～6月について太平洋側の海況と浮魚5種（マイワシ・カタクチイワシ・ウルメイワシ・マアジ・サバ類）の漁況経過を取りまとめ、2025年8月～12月の漁海況の予測を行いました。

本稿では豊後水道東側における漁海況の経過と予測についての概要を紹介します。詳細については、水産研究・教育機構のHPをご参照ください。

[\(2025\(R07\).8.1 2025年度第1回太平洋いわし類・マアジ・さば類長期漁海況予報 | 国立研究開発法人 水産研究・教育機構\)](#)

○海況 ※平年:平成3年(1991年)～令和2年(2020年)の30年間の平均

【2025年3～7月の海況経過】

◇水温

北部：3月は全層で「平年並み」。4月は全層で「平年並み」。5月は0m層で「やや高め」、10～75m層で「平年並み」。6月は0～20m層で「かなり高め」、50m層で「高め」、75m層で「平年並み」。7月は0m、50～75m層で「高め」、10～20m層で「かなり高め」（図2参照）。

中部：3月は全層で「平年並み」。4月は全層で「平年並み」。5月は0～20m層で「やや高め」、50～75m層で「平年並み」。6月は0～20m層で「高め」、50～75m層で「やや高め」。7月は0m層で「高め」、10m層で「やや高め」、20～75m層で「平年並み」（図2参照）。

南部：3月は全層で「平年並み」。4月は0m及び100m層で「やや低め」、その他の層で「平年並み」。5月は0～10m層で「平年並み」、20～100m層で「やや低め」。6月は0m層で「高め」、10m層で「かなり高め」、20、100m層で「やや高め」、50～75mで「平年並み」。7月は0m層で「かなり高め」、10m層で「高め」、20～50m層で「やや高め」、75～100mで「平年並み」（図2参照）。

【水温 (10m 層・℃)】

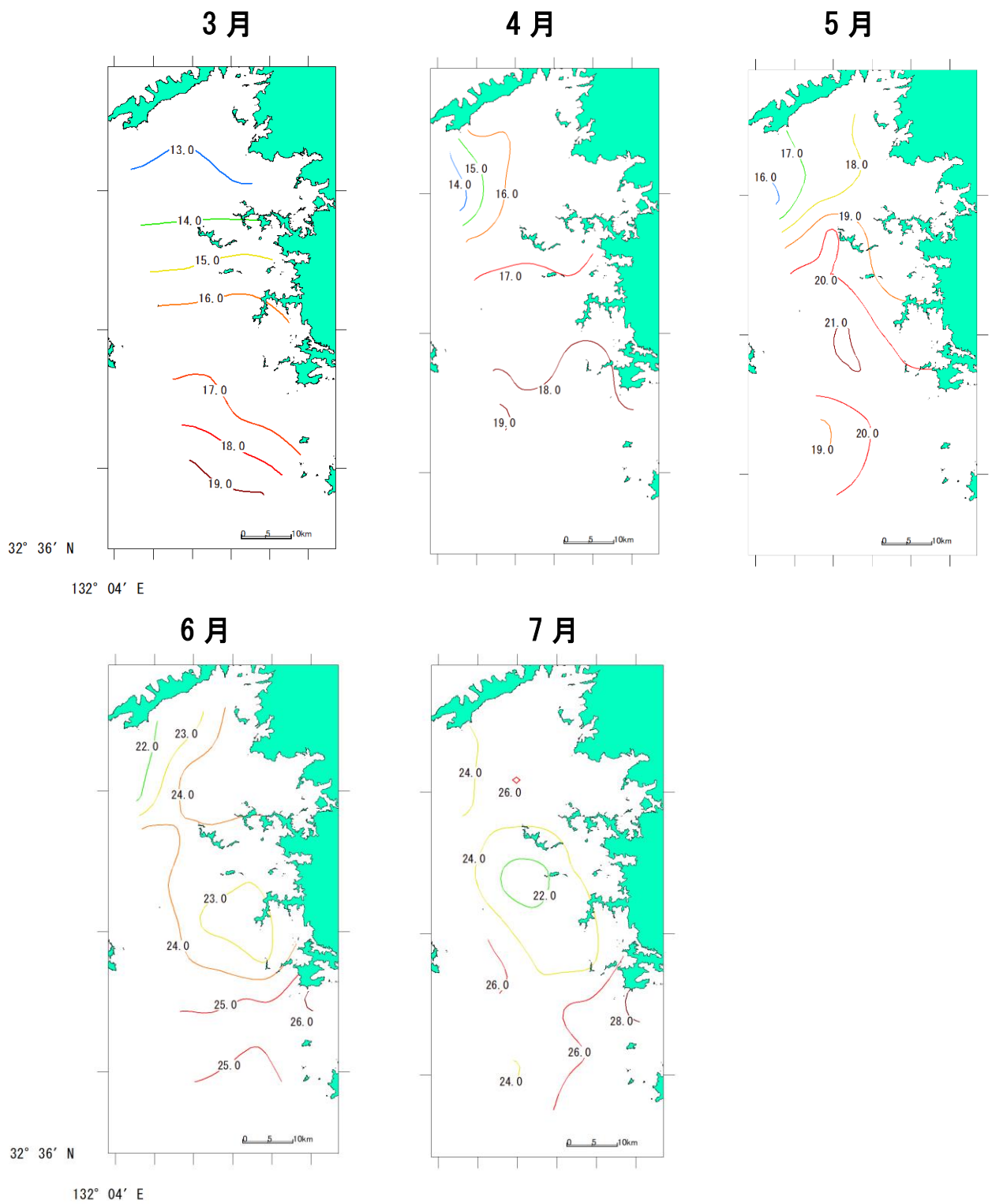


図 1 豊後水道東側における月別の海況図

	水深	3月	4月	5月	6月	7月
豊後水道 北部 (愛媛)	観測日	7日	22日	20日	24日	15日
	0m	- +	+ -	+	+++	++
	10m	- +	+ -	+ -	+++	+++
	20m	- +	+ -	- +	+++	+++
	50m	- +	+ -	- +	++	++
	75m	- +	- +	- +	+ -	++
豊後水道 中部 (愛媛)	観測日	10日	21日	16日	26日	8日
	0m	+ -	- +	+	++	++
	10m	+ -	- +	+	++	+
	20m	+ -	- +	+	++	+ -
	50m	+ -	+ -	+ -	+	+ -
	75m	- +	+ -	- +	+	+ -
豊後水道 南部 (愛媛)	観測日	21日	20日	19日	23日	4日
	0m	+ -	-	- +	++	+++
	10m	- +	- +	- +	+++	++
	20m	+ -	- +	-	+	+
	50m	+ -	- +	-	+ -	+
	75m	- +	+ -	-	+ -	+ -
	100m	+ -	-	-	+	+ -

評価基準

+++ (---) : 平年よりかなり高め(低め)

++ (--) : 平年より高め(低め)

+ (-) : 平年よりやや高め(低め)

+- (-+): 平年並み(プラス、マイナス基調)

※平年値統計期間:平成2年(1990)～令和3年(2021)

図 2 豊後水道東側における月別の水温平年偏差

◇黒潮

- ✓都井岬沖：都井岬沖では、3～4 月は離岸傾向、5～6 月は接岸傾向、7 月は離岸傾向で推移した。
- ✓足摺岬沖：3～5 月上旬にかけて「かなり離岸」～「著しく離岸」、5 月中旬～7 月中旬にかけてその後は「接岸」～「やや離岸」で推移した。その後、小蛇行が形成され、通過とともに「著しく離岸」で推移した。

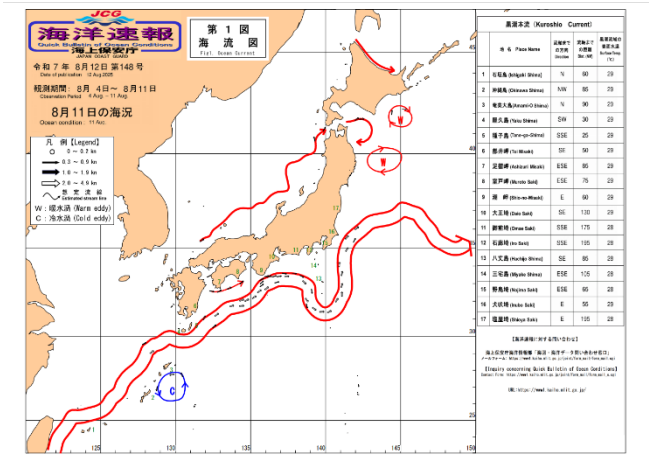


図 3 2025 年 8 月 11 日の海況図（海上保安庁 海洋情報部 HP より引用）

【2025 年 8～12 月の黒潮の見通し】

- ◇都井岬沖：離岸傾向で推移するものの、一時的に接岸傾向となることがある。
- ◇足摺岬沖：離岸傾向で推移するものの、一時的に接岸傾向となることがある。

○漁況 ※近年：過去 5 年間の平均 平年：過去 20 年間の平均

マイワシ

【2025 年 4～6 月の漁況経過】

豊後水道東側（宇和海）における水揚げ量は、4 月 0 トン、5 月 492.6 トン、6 月 1,726.6 トンで、計 2,219.2 トン（前年水揚げなし、対近年比 152%、対平年比 225%）となった。（図 4、5 参照）。

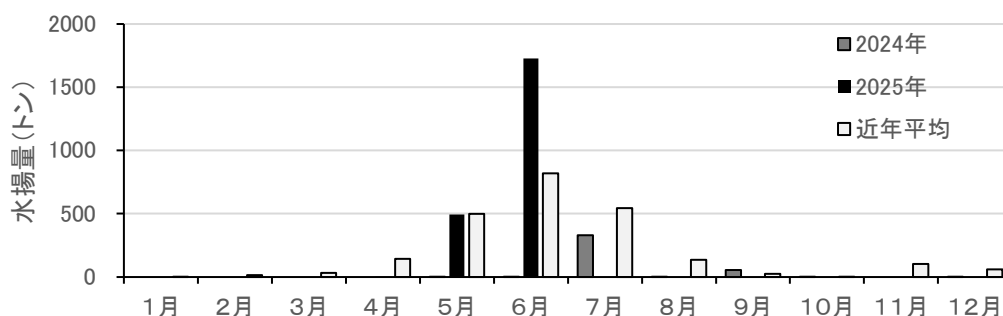


図 4 豊後水道東側における月別マイワシ水揚げ量

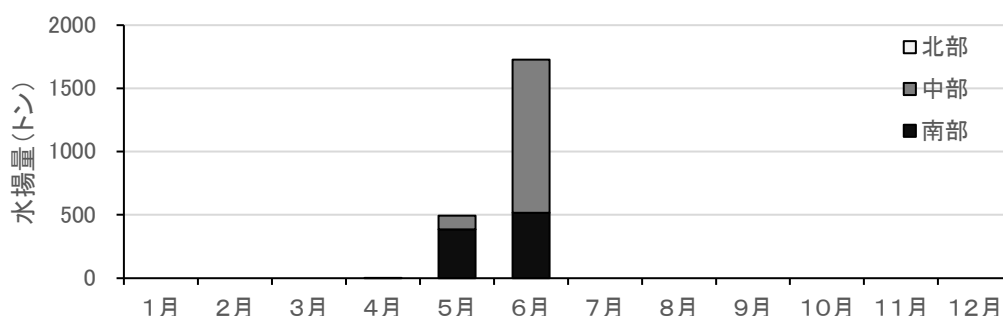


図 5 豊後水道東側における海域別のマイワシ水揚げ量

【2025 年 8～12 月の漁況予測】

予測期間中の漁獲対象となる 0 歳魚の水揚げ量について、例年 8～12 月は少ないが、2025 年 4～6 月の水揚げ量は、前年同期（実績なし）を大幅に上回っており、現在も漁獲が続いていることから、前年同期を上回ると予想される。

カタクチイワシ

【2025 年 4～6 月の漁況経過】

豊後水道（宇和海）における水揚げ量は、4 月 1,184.7 トン、5 月 412.8 トン、6 月 335.3 トンで、計 1,932.8 トン（対前年比 67%、対近年比 148%、対平年 124%）となった。（図 6、7 参照）。

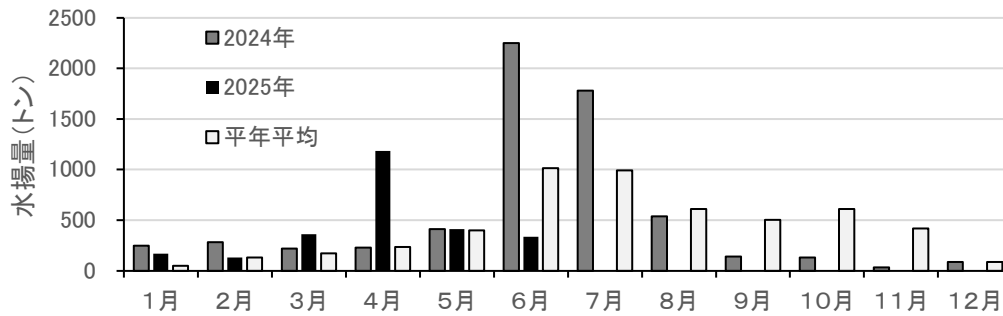


図 6 豊後水道東側における月別カタクチイワシ水揚量

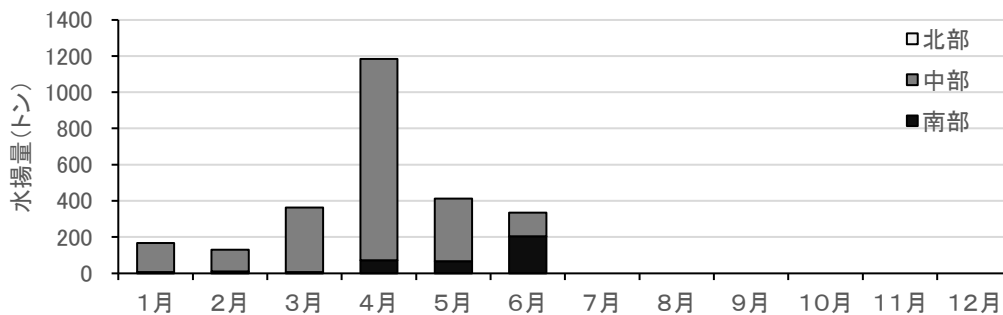


図 7 豊後水道東側における海域別のカタクチイワシ水揚げ量

【2025 年 8～12 月の漁況予測】

8～12 月は、被鱗体長 100mm 以下の本県周辺海域で発生したと推定される個体が漁獲の主体となる。カタクチシラスの水揚量及びまき網での水揚げ量が前年同期を下回ったことから、来遊水準は前年同期を下回ると予想される。

ウルメイワシ

【2025 年 4～6 月の漁況経過】

豊後水道（宇和海）における水揚量は、（4 月 80.6 トン、5 月 214.4 トン、6 月 455.8 トンで、計 750.7 トン（対前年比 78%、対近年比 85%、対平年比 71%）であった（図 8、9 参照）。

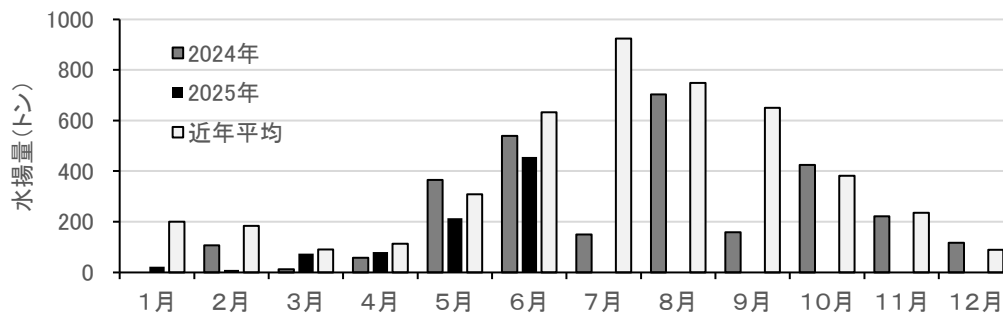


図 8 豊後水道東側における月別ウルメイワシ水揚量

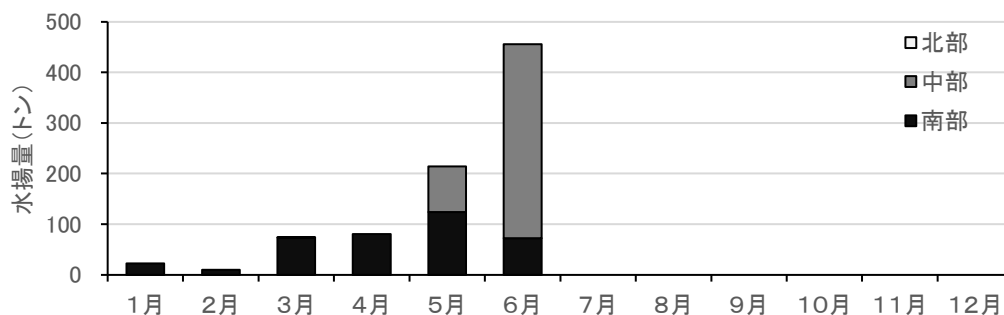


図 9 豊後水道東側における海域別ウルメイワシ水揚量

【2025 年 8～12 月の漁況予測】

加入時期にあたる 4～6 月と当歳魚が水揚げの主体となる 8～12 月において、両期間の水揚量には関係が認められ、これによると来遊水準は前年同期を下回ると予測される。

マアジ

【2025 年 4～6 月の漁況経過】

豊後水道東側（宇和海）における水揚量は、4 月 6.1 トン、5 月 36.0 トン、6 月 82.7 トンで、計 124.9 トン（対前年比 220%、対近年比 112%、対平年比 24%であった（図 11、12 参照）。

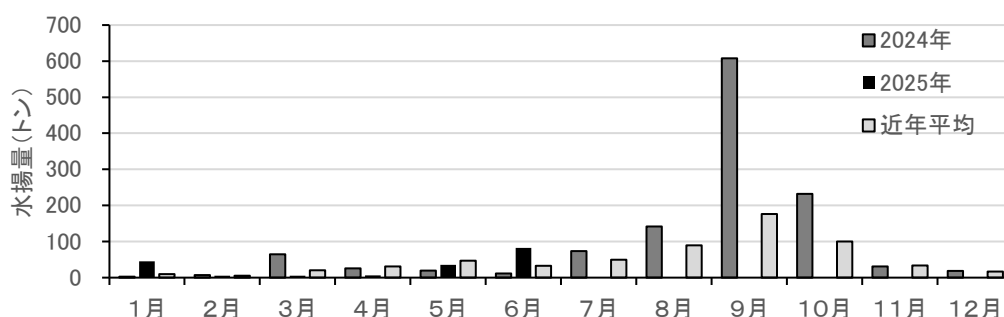


図 11 豊後水道東側における月別マアジ水揚量

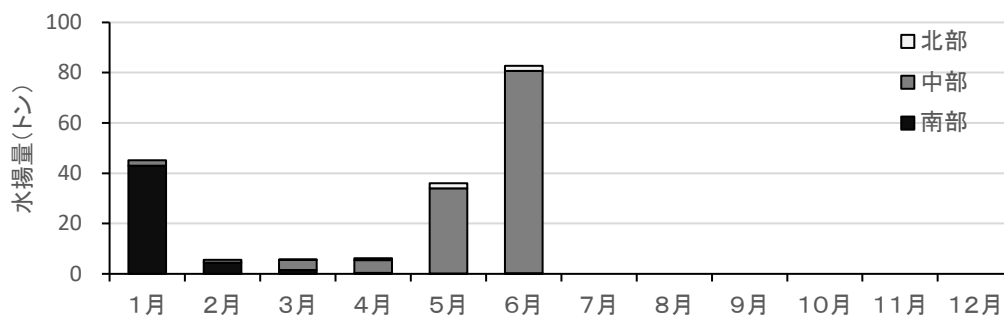


図 12 豊後水道東側における海域別マアジ水揚量

【2025 年 8～12 月の漁況予測】

マアジでは 5～6 月と 8～12 月において、両期間の当歳魚水揚量に関係が認められ、これによると来遊水準は前年同期を下回ると予測される。

サバ類

【2025 年 4～6 月の漁況経過】

豊後水道東側（宇和海）における水揚量は、4 月 21.9 トン、5 月 62.8 トン、6 月 6.5 トンで、計 91.2 トン（対前年比 87%、対近年比 6%、対平年比 8%）であった。そのうち、南部のまき網の水揚量が全体の約 78%を占めた（図 14、15 参照）。

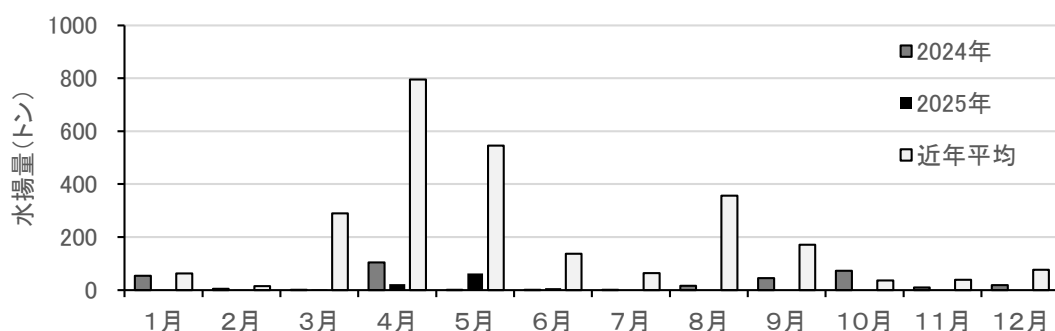


図 14 豊後水道東側における月別サバ類水揚量

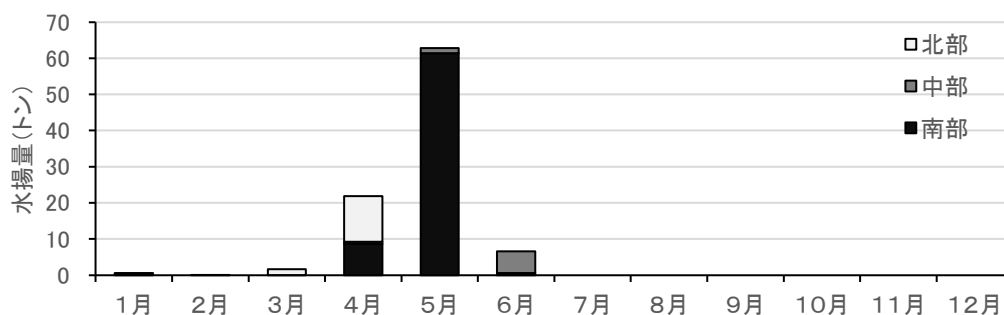


図 15 豊後水道東側における海域別サバ類水揚量

【2025 年 8～12 月の漁況予測】

4～6 月における当県の水揚量が前年同期を下回ることから、来遊水準は不漁であった前年同期を下回ると予想される。